

勝彦の千思万考

安心して預ける事ができる体制を！

近年の公立幼稚園は大幅な定員割れが続いていましたが、平成31年度は2年保育の年中組で60名の定員を11名上回る応募がありました。定員を上回る時は抽選で入園を決めていたもので、平成31年も在園児の兄弟・姉妹を優先したうえで抽選を行う事としていましたが、市による三国幼稚園休園と小郡幼稚園統合後の計画案の情報開示と説明の遅さや対応が不十分であった事を理由として、今年に限り定員を上回る年中児童の全員受け入れを求める請願が出されました。

市民へのお知らせについては例年と同じ時期に広報を通して募集を行っています。また統合後の計画案も休園の関係もあり今まで以上に丁寧に説明会をなされています。私は混乱の原因が市側にあるという事には当たらないと判断しましたが、請願は賛成多数(賛成9・反対8)で採択されました。

幼稚園にも保育園にも、また老人ホームや介護施設にも定員があります。これは、安心・安全に適切なサービスが提供できる為に定めているものです。

3年保育や預かり保育のサービスが新しく始まり現場は不安な中であって今回定員を超える受け入れの請願が採択されました。教室などのスペースの問題や人の配置など多くの課題があります。課題があるなかでの受け入れは到底出来るものではないと受け入れ体制を整備してください。



小郡市立小郡幼稚園

勝ちちゃんのてくてく雑記

ふるさと納税で税収増。前年の4倍、2億3500万円に！

平成20年から始まったふるさと納税制度。地方創生の取り組みとして近年注目されています。平成27年は300件で500万円程度でしたが昨年は5300件で7000万円の寄付が集まり、今年は12月25日現在で18600件、2億3500万円になっています。小郡では49の事業者が返礼品として地元の産品を贈っています。地場産業の育成、何より税収増につながっています。返礼品や手数料などの経費が半分かかったとしても1億円を超える純粋な税収の増加です。市はまちづくり基金を創設して市民提案型協働事業補助金や小郡市魅力化計画事業また、7月豪雨災害の見舞金としても活用をしています。



小郡市からの返礼品トップはさかえやの辛子明太子

近況報告

プライム会員に登録していることも知らなかった私、娘に指摘され特典であるプライムビデオを知りました。懐かしい映画を改めてゆっくりと観賞、今まで見なかったジャンルの映画も気軽に観る事が出来て現在はまっています。タブレットにダウンロードをすれば、電車など移動中に見れますよ。



井上勝彦プロフィール

昭和41年2月 浮羽町(現在のうきは市)生まれ 52歳 うお座 A型

●御幸小学校・浮羽中学校・浮羽高校 (現在 浮羽羽真館高校)を卒業

- (株)プリンスホテル勤務
 - 平成16年(社)みい青年会議所 第31代理事長
 - 平成17年 小郡市議会議員補欠選挙で初当選
 - 平成30年の選挙で当選。現在5期・14年目。
- 議席番号14番 政党は無所属 会派はおごおり創志会
議会選出監査委員
保健福祉常任委員会 委員
議会運営委員会 委員

《現在活動中の団体》

- ・NPO法人 元気っ子未来塾 監事
- ・明るい社会づくり運動県南地区協議会 常任理事
- ・福岡都市圏研究会 会員 など

井上勝彦事務所 / 〒838-0138 小郡市寺福童322-1
専用ダイヤル 0942-73-3966

◆重複して送付されたり、宛名変更などがある場合は、お手数ですが井上勝彦事務所までご一報ください。

井上勝彦後援会 勝ちちゃんタイムズ

小郡市議会議員 KATCHAN TIMES

No.29 New Year 2019

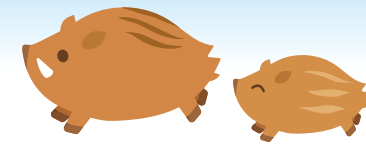
一陽来復

平成三十一年元旦

井上勝彦



高速道路高架下の有効活用について
(議会にて一般質問をして提案をしています)



高架道路下の活用について、国が抑制の方針であったものをまちづくり・賑わい創出の観点から有効活用へ方針転換したことを受けて、平成25年に練馬区では関越自動車道の高架下を1キロメートルにわたって有効活用する事業に取り組んだ。

その概要は、交流出来るイベントスペース、フットサルやバスケットボールのコートなどのスポーツ関連スペース、高齢者センター、リサイクルセンター、防災やイベントなどの資機材倉庫の設置などまちづくりの拠点として活用しているものです。

小郡中心市街地の真ん中を分断するような形で高速道路が通過しています。小郡市としても積極的に取り組むように提案をしました。



小郡市の中心市街地を東西に走る九州横断自動車道、有効活用する事で街の活性化に繋がると考えます。

大泉運動場



多目的コート3面を備えた運動場です。



フットサル、バスケットボール、キャッチボール、グラウンドゴルフ等でご利用できます。



60歳以上の区民の方を対象に、健康づくりやレクリエーション等の事業や活動の場を総合的に提供する健康増進施設です。

高速道路の高架下にこのような施設も整備できます
関越自動車道の高架下を賑わい創出の観点から有効活用した練馬区大泉学園での先進事例は「つらつセンター大泉」

市に対してのご意見やご質問をお知らせください。

井上勝彦事務所

〒838-0138 小郡市寺福童322-1 TEL0942-73-3966 FAX0942-73-3889



9月議会報告

8月24日～9月21日までの29日間の会期で開催しました。平成29年度の決算について、この年は市長選挙の関係で市を運営して行くために必要な経常経費で構成された骨格予算が組まれていました。経常経費で188億600万円、4年前(平成25年)と比べて20億円も膨らんでいて今までの舵取りが財政の硬直化を生んできていました。新しい舵(加地)取りが大切になってきます。議会として、費用対効果を見極め事業の見直しを含めた提言をしました。

審議された主な案件

議案第47号 平成30年度 一般会計補正予算(第4号)の承認について
1億9100万円を追加した205億2700万円を予算とする。

主な歳出(支出)

道路新設改良費

スマートIC設置関連事業 837万円
国によって新規事業化箇所へ決定。既存市道や水路付替の調査測量、設計費として事業主体であるNEXCO西日本に委託するものです。

小郡・開1区 3586号線道路整備事業 2525万円
県営住宅建設に伴い新しく市道認定をした道路を整備するものです。

幼稚園建設費

小郡幼稚園改修事業 1141万円
平成31年度からの3年保育・預かり保育の開始に向け園舎の改修をするものです。

災害復旧費 7月豪雨による被災箇所の災害復旧をするものです。

農業施設災害復旧費 1530万円
(農地・ため池・水路等被災箇所3箇所分)

公共土木施設災害復旧費 3984万円
(道路等被災箇所29箇所分)



開1区で計画中の市道3586号線



7月の豪雨で道路路面が崩壊した寺福童内畑堤、今年度中に道路災害復旧工事が施工されます。

議案第51号 稲吉橋補修工事請負契約の締結について
橋の長寿命化と歩道拡幅のために工事を行うものです。
契約先 ショーボンド建設株式会社 福岡営業所
契約金額 2億5826万円



工事に伴い平成31年2月16日～平成31年11月30日まで、終日車両通行止めとなります。(※歩行者は通行可)

認定第1号 平成29年度 一般会計決算認定について
財政の弾力性を示す経常収支比率は4年前(平成25年)の92.5%に対して98.3%と極めて硬直化が進んでいます。一刻も早く対策を打つべきです。来年度からは積み上げ式予算を改め、初めて枠で総額予算を決めて予算編成を行う事としています。大きな改革です。



会報誌のスペースの都合で一部をご紹介しましたが、市役所ホームページの市議会インターネット中継でご覧になれます。是非ご覧になってください。

小郡市のホームページ

小郡市議会をクリック

小郡市役所と検索ください。



A 議会中継をクリック

質問内容など議会の様子を映像で見る事が出来ます。



※映像をご覧になるには、Microsoft社のWindows Media PlayerまたはFlash Playerプラグインのインストールが必要な場合があります。

B 市議会会議録をクリック

質問内容が一言一句まで詳細に掲載されています。

12月議会報告

12月3日～21日までの19日間の会期で開催しました。今議会の傍聴は定例議会144名、保健福祉常任委員会で18名と多くの方が傍聴されました。小郡幼稚園入園に関する請願書が出されており、関心が高かったのが要因でしょうか？

審議された主な案件

議案第58号 平成30年度 一般会計補正予算(第6号)の承認について
1億392万円を減額した206億5800万円を予算とする。

主な歳出(支出)

児童措置費

私立保育園運営費補助金 9115万円
受け入れ児童が増加したことによる私立保育園の運営費を補助するものです。

私立保育園等施設整備事業 Δ3億3610万円
本年、認定こども園として施設整備をしている三井幼稚園への補助金を来年度の事業として繰越を行うものです。

農業振興費

経営体育成支援事業 1904万円
7月豪雨により被災した農産物の生産・加工に必要な機械や施設の修繕、再取得費用を支援する国・県の補助事業で11件を支援するものです。

体育施設費

陸上競技場改修事業 600万円
2種公認を維持する為に改修するものです。

請願第2号 平成31年度小郡幼稚園入園に関する請願書
市側の公立幼稚園統合の情報開示と説明の遅さや対応が不十分だとして、統合初年度のみ年中児童の全員受け入れ、2年保育を保障する請願が提出され審査担当の保健福祉常任委員会では不採択となりましたが、本会議の議決で賛成多数(賛成9・反対8)で採択されました。

一般質問 ～12月議会にて～



登下校時の安全対策について

登下校時の安全対策は学校の大きな課題です。平成15年頃にはアンビシャス運動の一環で有志による見守りボランティア運動が各地域で始まりました。現在では後継者の育成が課題となっています。国も登下校における防犯対策について「地域の連携の場」を作ることが大切であり、地域の実情に応じて安全な登下校を地域全体で見守る体制整備は重要であり市が取り組んで行く事としています。校区で展開されているまちづくり協議会と学校やボランティアの方々との連携を市が中心となって推進していく事、また有志ボランティアの皆さんの活動についての支援体制を強く要望しました。

端間駅周辺の活性化について

平成31年度で完成する西側広場、既に完成している東側広場を結ぶ自由通路の設置について、また、現在小郡駅終点・始発の電車が1時間に2本ありますがこれを端間駅終点・始発にすることで利便性が格段に上がります。端間駅を中心に駅周辺の活性化の為に鉄道事業者との連携強化、庁内プロジェクトの立ち上げを行い早急に取り組むべきであることを提案・要望しました。



整備が進む端間駅西側駅前広場、活性化には市だけではなく鉄道事業者との連携は必須です。